

令和4年（2022）2月21日

令和3年度（2021）

第7回出雲市議会(定例会)

施政方針質問通告一覧表

令和3年度（2021）第7回出雲市議会（定例会）  
施政方針質問通告一覧表 目次

2月21日（月） 10:00開会			
順番	会派名	議員氏名	ページ
1	真誠クラブ	寺本淳一	3、4
2	政雲クラブ	湯浅啓史	5、6
3	平成クラブ	今岡久人	7、8
4	公明党	福島孝雄	9、10
5	日本共産党	吉井安見	11、12
6	市民クラブ	岸道三	13

質問者	19 真誠クラブ 寺本 淳一
-----	----------------

質問事項・質問内容

(1) 所信について

- ① 市長に就任以来、多くの企業や団体の方々と対話されてこられました。その「訪問ミーティング」「まちづくりミーティング」の中で聞かれた実情や将来像とそ  
のご意見に対して、どのような政策を検討されているのか伺います。
- ② 「出雲力」とは。具体的な説明とその「出雲力」を人口減少・少子高齢化や中山  
間地などの課題にどのように活かされるのか伺います。
- ③ 60万宍道湖・中海圏域の持つポテンシャルと将来構想について伺います。

(2) 市政運営のポイントについて

- ① 新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立
  - ア 社会経済活動を推進し、活性化させていくためには国の交付金だけに頼らず  
市独自の支援策が必要だと思いますが見解を伺います。また市内業者の事業  
継続を下支えする必要な対策を伺います。
  - イ 新型コロナウイルス感染症は現在若い世代、特に保育園や小学校の園児・児  
童が増加傾向にあるように思われますが、昨年からの感染者数の推移を伺い  
ます。また今後は市として子どもたちをどう感染から守っていかれるのか伺  
います。

(3) 主要施策・主要事業について

- ① 安全安心なまちづくり
  - ア 新たに取り組まれる「空き家安心サポート事業」の取組内容と、空き家の発  
生予防と利活用に向けてどのような重要な役割を果たしていくのか伺いま  
す。
- ② 未来の出雲を担う子どもの育成と子育て支援
  - ア 島根県の不登校割合は全国でも上位を占め、出雲市も例外ではない状況にあ  
ります。対策としてICTを有効に活用した対策が必要と思いますが見解を  
伺います。
    - a 不登校の理由。
    - b ICT導入状況と課題。
    - c 不登校対策の有効性についての見解。
    - d モデル校を指定し取り組む考えは。
- ③ 人口減少対策
  - ア 産業振興・観光振興
    - a ソフト産業誘致の取組の現状と目標数。
    - b 空き家を活用し、サテライトオフィスを増やしていく考えは。

④ 農林水産業の振興

- ア スマート農業の実証実験の現状と全域に展開していくためのロードマップ。
- イ スマート農業を力強く推進するためにインストラクターやアドバイザーの育成と確保についての見解。

(4) 脱炭素社会の実現について

- ① 再生可能エネルギーの導入促進は重要です。しかし二酸化炭素の排出削減は再生可能エネルギーと省エネルギー化をバランス良く取り組む必要があります。家庭におけるエネルギー消費の伸びが世界で突出している状況をみれば早急に断熱・気密化支援策を考え、ゼロカーボンシティを目指すべきですが、見解を伺います。

(5) 心豊かな地域づくりについて

① 共生のまちづくり

- ア 地域コミュニティの基礎となる自治会の現状と加入促進、脱退防止を図るための対策を伺います。
  - a 加入率の増えた地域、減少した地域とそれぞれの理由。
  - b 「自治会支援アドバイザー事業」は地域にどのように係り成果をあげていくのか。

(6) 行財政改革について

- ① 「クラウドファンディング型ふるさと納税」の活用として空き家を宿舎にし、県外の高校生を取り込み、消費や地域の活性化、また地元への就職を促すことやUIターン促進にも繋がると考えるが見解を伺います。

(7) 結びに

- ① 民間出身の市長としてこれまでの企業経営で培った経営感覚を生かした施政方針を改めて伺います。

質問者	18	政雲クラブ	湯浅 啓史
-----	----	-------	-------

質問事項・質問内容

(1) 防災対策、災害対応について問う

- ① 新たに構築される「災害情報管理システム」と災害対応組織体制について
  - ア 新たに構築される「災害情報管理システム」とはどのようなものか。
  - イ 災害時には、個人、町内、自治協会、コミュニティセンター、行政センターなどがそれぞれの役割を果たし、市が早期に正確な情報を把握し一元化したうえで共有する必要があるが、災害対応体制をどのように構築していくのか。
  - ウ 分散型備蓄倉庫の整備の方針を伺う。
- ② 防災対策組織について
  - ア 国の地域防災マネージャー制度を活用して配置される「防災危機対策監」は市の組織内でどのような役割を果たすのか。また、どのような権限が与えられるのか。
  - イ 「防災危機対策監」はコミュニティセンターや自治協会などと共に構築されている市全域の防災体制にどのように組み入れられるのか。
  - ウ 「防災危機対策監」は地域防災力の向上や防災意識の高揚にかかわることとなるのか。
- ③ 浸水対策の検討について
  - ア 市内各所で起こる浸水被害は、出雲市にとって長年の懸案事項だが、これまで幾度となく浸水被害を受けてきた地域の対策の検討をどのように進めていくのか伺う。

(2) デジタルファーストの推進について問う

- ① デジタルファーストを推進する体制について
  - ア 市長が最高責任者（CDO）となり、本市出身の若手DXアドバイザーを「CDO補佐官」とするとの事だが、具体的にどのような役割を担っていくのか。
  - イ デジタルファーストの推進は全庁挙げて取り組むべき課題であり、各部・各課での対応が重要である。どのように推進体制を構築するのか。
  - ウ DXアドバイザーと共に作成されつつある、「出雲市デジタルファースト推進計画実現に向けたロードマップ」には、トップダウンで強い意志を押し出す必要があると考えるが、市長の見解を伺う。
- ② DX技術等の地産地消について
  - ア AI・RPAの活用や縁結びデジタルプロモーション事業をはじめ、市民サービスの向上、産業・観光の分野、出雲ブランド力の向上などでICT技術等の活用が急務となっているが、それを担う企業を地場で育成する必要があると考える。DXに取り組むのであれば、それが出雲市の主力産業となるまで徹底して取り組み、地場の経済活動を牽引するよう育成する必要性を痛感している、市長の見解を伺う。

③ 小中学校でのICT活用について

ア 小中学校に配備された「児童生徒1人1台端末」の活用にはどのような見通しを持っているのか。

イ 来年度配置される予定の「ICT支援員」はどのような役割を担うのか。

(3) 主要事業・主要施策について問う

① 総合医療センターの取り組みについて

ア 出雲医療圏で果たすべき役割とは何か改めて伺う。

イ 市内唯一の市立病院である限り、市域全体にとって必要不可欠な機能を持つべきだが、その取り組みとは何か伺う。

② 芸術文化事業について

ア 長い間継続で現状維持が続いている「出雲総合芸術文化祭」「出雲芸術アカデミー」事業について、市長はどのような展望と目標を持っているのか伺う。

③ 「ディオッサ出雲FC」の支援事業について

ア 女子プロサッカーリーグ参入を目指す「ディオッサ出雲FC」の支援事業について、どのような目標設定をしているのか。

また、本市の魅力発信にどのように貢献していると考えているか伺う。

④ 地場中小企業・小規模企業振興について

ア 「出雲市地場中小企業・小規模企業振興基本条例」の基本方針に基づき策定された「出雲市中小企業・小規模企業振興計画」の計画期間が来年度最終年度を迎える。「出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議」のワーキンググループで進められた「出雲市中小・小規模企業振興モデル事業」をどのように評価しているか。

また、今後に向けた展望を伺う。

質問者	8	平成クラブ	今岡 久人
-----	---	-------	-------

質問事項・質問内容

(1) 所信について

- ① 新型コロナウイルスは第6波が全国を席卷しました。ワクチン接種の前倒しが叫ばれる中、高齢者はともかく5歳から11歳の子どもに対する接種について、関係者への周知はどのようにお考えですか。
- ② まん延防止対策が取られ市内中心部の飲食店、特に夜はほとんどのお店が休業と聞いています。迅速な支援体制は実施されているのでしょうか。
- ③ コロナ禍で市民との対話活動、時間的にもご苦労があったと思いますが、特に印象に残り再認識された事柄はどんなことでしたか。

(2) 安全・安心なまちづくり

- ① 昨年7月、8月の災害によって得た教訓は何でしょうか。出雲市は暫く大きな災害が無かった事により課題が露見しました。特に避難行動については、徹底した規範行動意識を積み上げてほしい。要支援者の避難行動計画は再認識をされ早急にとりまとめをして頂きたい。
- ② 同じく原子力防災について防災訓練の実施と避難計画の見直し・市民への周知方はどうお考えなののでしょうか。

(3) 国土強靱化について

- ① 山陰道が令和6年度に開通を目指している出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路が開通すれば必然的に国道9号の交通量増加が見込まれる。出雲市の動脈である国道9号は、都市計画道路神戸橋神西沖線と出雲バイパスは是が非でも早期の4車線化が望ましい。更に原子力防災の目線から見ると、避難行動に利用する道路として位置づけをして頂く事が大事と思うが如何お考えなのか。

(4) 未来の出雲を担う子どもの育成と子育て支援

- ① 未来の出雲を担う子どもの育成に対して、学校現場への訪問とかの支援を掲げられました。また出雲市の人口安定の要因である外国人の方達、とりわけ子どもたちへの日本語教育支援は大切です。具体的にはどのような支援をお考えでしょうか。それらを支える学校現場への予算措置は適切な金額となっているのでしょうか。
- ② 出雲で子どもを産み・育てるお母さん。この方達への支援策は沢山ありますが、まず妊娠中のフォローアップ体制、また出産時のお祝い金の考え方は如何ですか。
- ③ すくすく育つ子ども達。しかし、虐待や発達障がいの子どもがいるのも事実です。具体的な支援策はどんなことでしょうか。

#### (5) 人口減少と産業振興

- ① 企業誘致は働き場所の拡充であり人口の流出を防ぎます。若者の流出はぜひとも止めて頂きたい。市内の高校（農林・商業・工業）では卒業生に対して市内あるいは県内の就職へ向けて働きかけをしています。中学から高校への進学を含め市内就職を考えてもらう施策はお考えではないのでしょうか。
- ② サテライトオフィスの計画は実行されました。更にIT企業の誘致はお考えにないのでしょうか。
- ③ 出雲の基幹産業である「農業」は、これまでの経験と勘で行う農業からITを使うスマート農業を目指す。  
稲作中心から野菜栽培の拡充体制への移行。などJA等との協働体制はどのようにお考えなのか。

#### (6) デジタルファーストの推進

- ① デジタルファースト推進の、一丁目一番地は何ですか。
- ② 先進地のお話を聞く限り、準備に要する時間がかなり必要と考えます。現在の出雲市はどんな進捗状況でしょうか。
- ③ 出雲市内において人口分布の二極化が言われています。中山間地域におけるITを使った交通問題解決策を早期に取り組むお考えはないのでしょうか。

#### (7) 脱炭素社会の実現

- ① ゼロカーボンシティの実現に向けた機運を高めるとしてありますが、実際にJ-クレジットをいかに有効活用するのか、具体策をお尋ねします。
- ② 荒廃している山林の管理について、間伐材のチップ化を進めるための施策・繁殖の激しい竹の活用策などの対策はどのようにお考えですか。

#### (8) 環境保全

- ① トキの放鳥に向けて環境整備は不可欠です。山林の整備はもとより農地の保全に向けて高齢者が奮闘している除草対策、これらの具体的な支援策を伺います。

#### (9) 共生のまちづくり

- ① 地域コミュニティの弱体化が進んでいます。自治会加入の減少・脱退が大きな課題となっています。  
市全体で加入促進を図る運動を起こす考えは無いのでしょうか。  
新型コロナウイルスのまん延によって、社会の構造が変化をしました。今こそ「自助」・「公助」・「扶助」の精神が必要と思います。  
「訪問ミーティング」や「まちづくりミーティング」を通じて多くの事を再認識されました。今年実現可能な事柄は何でしょうか。お聞かせ下さい。

質問者	20 公明党 福島 孝雄
-----	--------------

質問事項・質問内容

(1) 「安全・安心なまちづくり」について

- ① 「災害に備えた公共施設の改修・老朽化対策」
  - ア 老朽化が進む市内4カ所の「不燃物処理施設」「埋立処分場」の残余容量の状況を踏まえた「不燃物処理施設のあり方」について、特に「平田不燃物処理センター」の今後の対策と、その他の施設の今後の考えを伺う。
  - イ 中心市街地の老朽化や用途廃止した公共施設の集約化と跡地の有効活用について、特に（新）体育館完成後の（旧）体育館の対応を伺う。
- ② 「地域の安全安心」
  - ア 交通安全対策に於ける「通学路の事故防止」について、本年度国から依頼を受けて、市が実施した「通学路における合同点検」の結果と対応を伺う。

(2) 「未来の出雲を担う子どもの育成と子育て支援」について

- ① 「子育て支援」
  - ア 児童クラブについて
    - a 児童クラブへの入会希望児童数の増加による施設の増設計画と職員確保の現状と課題を伺う。
    - b 今後の入会希望児童数の推移を伺う。
    - c 基本的には「放課後は自宅で子どもを見る」という考え方も必要であると思うが、市の見解を伺う。

(3) 「人口減少対策」について

- ① 「農林水産業の振興」
  - ア アグリビジネススクールの現状と成果を伺う。
  - イ 出雲農業未来の懸け橋事業の利用状況と予算の増額の考えはないか伺う。
  - ウ 新出雲チャレンジ事業で、今後「スマート農業」の中山間地域利用の拡大を図る必要があると考えるが、その上で、予算の増額が必要と考えるが所見を伺う。
  - エ 米に代わる「高収益作物」への転換の見通しと、将来の転作目標を伺う。
  - オ 「森林環境譲与税」を活用した循環型林業の実現のプロセスを伺う。
- ② 「中山間地域振興」
  - ア 「ミッション型」の地域おこし協力隊の配置による地域課題のサポート体制の内容を伺う。
  - イ 地域農業の維持や課題解決を図る「自発的な取組」の実例と課題を伺う。
  - ウ 有害鳥獣対策での「捕獲檻増設」「鳥獣被害対策モデル事業」の取組の要点を伺う。
  - エ 「未来につなぐ中山間地域道路環境整備事業」に於けるボランティア軽減策の実施要件を伺う。

(4) 「脱炭素社会の実現」について

① 「環境保全」

ア 「トキ飼育事業」について、本市での野生復帰の実現に向けて、市内の自然環境調査の内容を伺う。

イ トキの放鳥を行う上で「餌場の確保」が重要と考えるが J A 及び、認定農業者や一般農家の意見を集約する機会はあるのか伺う。

質問者	1 日本共産党 吉井 安見
質問事項・質問内容	
(1) 市長の政治姿勢について	
① 市政の主人公は誰か、市長の考えを伺う。	
(2) 島根原発2号機の再稼働は中止を	
<p>① 昨年9月、原子力規制委員会は島根原発2号機の適合性審査で合格を出したが、原発の危険性について、認識を伺う。</p> <p>② 核燃料サイクルや放射性廃棄物の最終処分は行き詰まっており先を見通せない。将来世代が大きな負担を背負うことになるかと考えるが、認識を伺う。</p> <p>③ 出雲市でも原子力災害時の避難計画が策定されているが、実効性のある計画となっているか。実効性ある避難計画とはなにか、認識を伺う。</p> <p>④ 現在、出雲市が中国電力と結んでいる安全協定は、出雲市が求めている立地自治体と同等の協定ではないが、その現状をどのように考えているか。</p> <p>⑤ 島根原発2号機の再稼働について今議会で判断するとしているが、この時期に判断する理由はなにか。住民運動が起きている中での判断はあまりに拙速ではないか、考えを伺う。</p>	
(3) 新型コロナ対策の拡充を	
<p>① 新型コロナ対策の検査体制拡充と情報発信の強化を</p> <p>ア 迅速なワクチン接種とともに、医療・介護施設、保育所等で働くすべての従事者を対象とした定期的な検査の公費負担での実施が必要と考えるが、所見を伺う。</p> <p>イ これから受験や進学、就職のため、人の往来が多い時期となる。不安に思う市民が何度でも、無料で検査を受けられるよう市独自の検査センターを設置すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>ウ 「オミクロン株」は感染力が強く、市内の感染状況の推移も予断を許さない。感染した際の行動マニュアルや自宅療養の際に受けられる支援策等の情報発信を求める声があるが、現在の取り組みを伺う。</p> <p>② 市内事業者への直接支援を</p> <p>ア 市内での感染拡大やまん延防止等重点措置の対象地域になったことで、市内企業にも大きな影響が出ている。国や県の支援制度の周知とともに、市独自のさらなる支援を実施すべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>イ 「最大の経済対策は新型コロナ感染症の収束」と考えるが、市長の認識を伺う。</p>	
(4) 子ども医療費は中学卒業まで無料に	
① 昨年4月に子どもの医療費助成制度の前進が図られたが、対象の拡充を求める声は依然として大きい。さらなる拡充を行い、中学校卒業までの窓口負担の完全無料化を実施すべきと考えるが、所見を伺う。	

(5) 保育園（所）・児童クラブで働く職員の処遇改善を

- ① 保育職場で働く職員の処遇改善が行われるが、現場からは「根本的な解消になっていない」との声が寄せられているが、認識を伺う。
- ② 放課後児童クラブで働く職員の処遇について、各施設で差があるとともに根本的な処遇改善が必要と考えるが、認識を伺う。

(6) 安心して学べる教育環境の整備を

- ① コロナ禍での子どもの学びを保障するためにも、少人数学級編成のさらなる推進が必要と考えるが、考えを伺う。
- ② ジェンダー平等の社会をつくる上で教育の場でのジェンダー平等の啓発は大きな意味があると考えているが、取組状況はどうなっているか伺う。
- ③ 県内でも、制服のあり方を検討する中でジェンダーレス制服を採用する学校もあるが、市内の状況を伺う。

(7) 市民の個人情報と生活を守る取り組みを

- ① マイナンバー制度は、市民の所得・資産・社会保障給付を把握し、市民への徴税強化・給付削減を押しつけるものである。市民が必要としないマイナンバーカード取得を市が推進すべきでないと考えているが、認識を伺う。

質問者	17 市民クラブ 岸 道三
質問事項・質問内容	
(1) 「安心・安全なまちづくり」について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 県内水道事業体の広域連携について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 水道広域化推進プラン策定に向けた協議の状況と課題</li> <li>イ 出雲市水道事業と斐川宍道水道企業団による2つの給水体制のあり方における市としての考え</li> </ul> </li> <li>② 下水道使用料のあり方について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 下水道事業会計における財政状況</li> <li>イ 下水道使用料設定の考え方</li> </ul> </li> </ul>	
(2) 「未来の出雲を担う子どもの育成と子育て支援」について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中学校訪問による本市への誇りと愛着を持ってもらえる取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 具体的な実施方法</li> </ul> </li> <li>② 中学生への消費者教育について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 高校生への消費者教育の現状</li> <li>イ これまでの実績と課題</li> </ul> </li> </ul>	
(3) 「人口減少対策」について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「出雲市地域公共交通計画」の策定について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 抽出された課題</li> <li>イ 今後のスケジュール</li> </ul> </li> <li>② 観光振興における周遊滞在型観光の充実・強化について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア これまでに造成された周遊滞在型旅行商品の内容と実績</li> <li>イ 体験型プログラム造成に向けた課題</li> </ul> </li> <li>③ デジタルマーケティングを活かした取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>ア データの活用・分析による今後の施策</li> </ul> </li> </ul>	
(4) 「令和4年度当初予算の概要」について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度一般会計予算について <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 令和4年度一般会計予算増大の要因</li> <li>イ 財政計画に示す目標値達成への決意</li> </ul> </li> </ul>	